

地域支援だより

# きらりNet

平成26年7月11日

第44号

秋田県立秋田きらり支援学校  
地域支援部

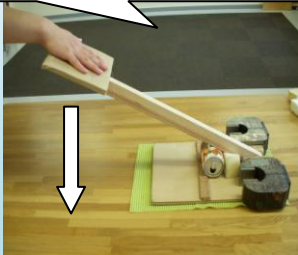
## 教材・教具特集 ～高等部校内実習から

高等部の校内実習から作業での補助具を集めてみました。参考にして  
ください。



### 缶つぶし機

テコの原理を利用し、少ない力で缶を潰します。クッションがポイント！1回ごとにバーを上げずに缶がスムーズにセットできます。



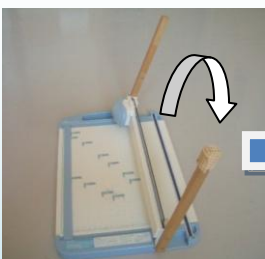
### ミニ書見台



段ボールで作成。クリップを用いて、メモやスケジュールを挟みます。

軽量で座位保持装置テーブルにのせて使用できます。

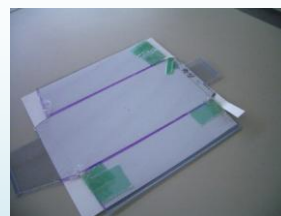
### 長柄付スライドカッター



スライドカッターを使った紙切り作業において、長めの柄を取り付けることで、自分で用紙を挟んで切ることができます。



### 紙切補助具



手作り封筒を制作する作業で使用しています。プラスチック板で封筒の展開図の型を作り、用紙を挟んで型通りに切ることができます。

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

# 小学部

## ♪～音楽～少人数授業での工夫♪

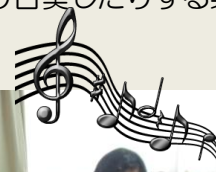
小学部の教科を主とする学習グループでは、4年生と5年生の2名のみの在籍のため、いくつかの教科は合同で学習しています。その中から音楽の学習の様子を紹介します。

6月に学習した「リボンのおどり(ラバンバ)」という曲は、7つのパートに分かれて合奏する曲です。児童と教師がそれぞれ自分のやりたいパートや楽器を選んで演奏するのですが、3人で7つのパートを同時に演奏することは不可能です。そのため、少人数を生かして、一人一人が一つのパートや楽器にとどまらず、次々と別のパートや楽器に挑戦することで、様々な音の組み合わせを生み出し、それぞれの響き合いの違いを感じることができました。また、同じく6月には、上北手小学校の5年生と音楽の交流学習を行いました。交流学習を通して、大人数の中でリズムを合わせて合唱したり合奏したりする楽しさや音の迫力を味わう経験も積み重ねています。



木琴、リコーダー、オルガンの合奏バージョン。

タンバリン、木琴、リコーダーの合奏バージョン。  
楽器が変わるだけで、音の重なり方の違いを感じることができました。



## きらり☆地区別研修会のお知らせ

昨年度に続き、今年度も「きらり☆地区別研修会」を次の日程で開催します。

県南：7月31日(木) 横手市交流センターY2(わいわい) ぷらざ第一研修室  
中央：8月4日(月) 秋田きらり支援学校 地域支援室  
県北：8月7日(木) 秋田県北部老人福祉エリア 視聴覚室

日程 13:10～13:30 受付  
13:30～15:05 講演「上肢動作と適した姿勢について」  
講師 秋田県立医療療育センター 作業療法士 羽澤優子氏 渡辺暁子氏  
15:20～16:30 情報交換会

お問い合わせは下記担当までお願いします。

皆様の御参加をお待ちしております。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 石川 純子 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575

「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>



次号は8月29日発行予定です。